



歴史・文化サイトカード

通しNo.	1-B-1	更新日	2025/2/20
サイト名	昭和の国引き国営中海土地改良事業～揖屋干拓地 <sup>しや</sup>		
基本情報	区分	<input type="checkbox"/> 有形 <input type="checkbox"/> 無形 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
	所在地	松江市東出雲町錦浜	
	指定別		
	種別		
	指定／登録年月日		
	管理団体／モニタリング		
	周辺施設／アクセス	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 駐車場(   台)	
留意点			
サイトの解説	歴史・文化	<p>国営中海土地改良事業は、中海の干拓による農地等の造成(干拓事業:本庄工区、揖屋、安来、弓浜、彦名)と宍道湖・中海の淡水化による干拓農地及び沿岸既耕地の農業用水の確保(干拓附帯農業用排水事業)を目的に1963(昭和38)年に着工された。当初の計画では、農地等の造成は約2,230ha、農業用水の受益面積は約7,300haであった。</p> <p>その後、実施された干拓事業によって、干拓5地区のうち島根県側の揖屋地区、安来地区及び鳥取県側の弓浜地区は1989(平成元)年3月に、鳥取県側の彦名地区は1992(平成4)年3月に完了した。また、中浦水門を始めとする淡水化施設も建設された。造成した農地は、農家へ配分されて大規模畑作営農が展開されている。</p> <p>しかし、中海の環境問題や1971(昭和46)年からの減反政策など農業を取り巻く状況の変化により、国は2000(平成12)年9月に本庄工区干拓中止、2002(平成14)年12月には淡水化計画も中止とした。2005(平成17)年にはこれを受け、国は国営中海土地改良事業の変更・廃止手続きを行い、中海と境水道を仕切っていた中浦水門が撤去された。</p>	
	地形・地質、生物・生態等	<p>揖屋干拓地は島根県が策定した「斐伊川・宍道湖・中海総合開発計画」(1954(昭和29)年)のもとに進められた国営中海土地改良事業のひとつである。当初水田造成を目的としていたが、国の開田抑制(1969(昭和44年))により水田から畑地への整備に変更された経緯がある。大橋川の河口の右岸は、埋め立てられ1964(昭和39)年には河口から突きだしたような地形になっていた。この埋め立て地と下意東の半島(崎田鼻)との間を干陸させて基盤造成がなされたのが揖屋干拓地である。農地の高さが中海の水位よりも低く、塩水の浸透を防ぐための排水場が造成地の南にある。かつては出雲郷の湖岸は、錦浦とよばれ美しい景観の地であった。</p>	
写真・図等	 <p>中海に面する堤防</p>	 <p>干拓地は農地として活用されている</p>	
参考文献			